

「カビ」に関する意識調査【概要版】

Rinnai
リンナイ株式会社

梅雨時期のカビ事情を徹底調査 正しい知識を持っているカビ対策優等生はわずか3割！ カビに悩んでいる方は約8割いることが判明 梅雨時期の掃除の悩み1位「カビ汚れの掃除」

カビ専門家・矢口先生に聞く“梅雨時期のカビ対策のポイント”3つ公開

湿度の高い状態が続くとカビが発生しやすくなり、そのまま放置しておくとうまいにも人にも影響が出ることがあります。

また、梅雨の時期にはカビの掃除に悩みを抱える方も少なくないです。この度、健やかな暮らしを提案す

るリンナイ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：内藤 弘康）ではカビの実態を探るべく、全国20～60代の男女計1,000名を対象に、「カビ」に関する意識調査を実施しました。

■主な調査結果

- ✓ 1年で最もカビが気になる時期は梅雨！梅雨の掃除の悩み1位「カビ汚れの掃除」
- ✓ カビに悩んでいる方は約8割いることが判明 カビに悩む場所1位は「浴室内」
- ✓ カビ専門家矢口先生監修「カビ対策知識テスト」カビを正しく理解している“カビ対策優等生”は約3割という結果に

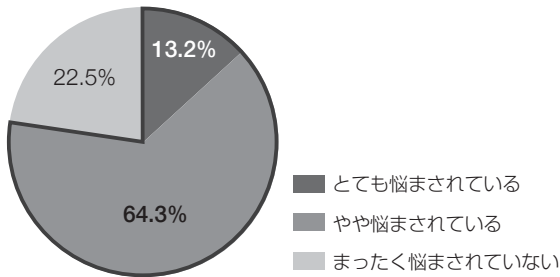
- ✓ 重曹がカビに効くと勘違いしている方が約6割もいることが判明
- ✓ 20代においては、男性（夫）が日常的に浴室掃除を担当している家庭が約5割
- ✓ 健康被害の可能性あり！エアコン掃除の頻度は半年に1回と答えた人が約2割ということが判明



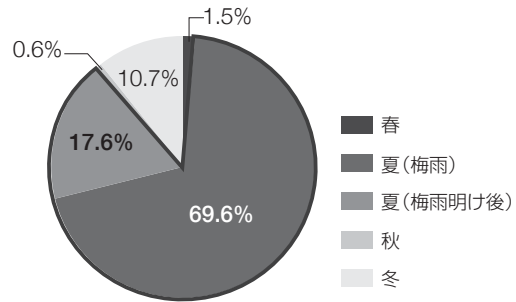
▶カビに悩んでいる人は約8割いることが判明
1年で最もカビが気になる時期は梅雨！
カビの悩み1位は「掃除をするのが大変」という結果に

カビに悩んでいる方がどれくらいいるのか調査したところ、約8割の方がカビに悩んでいるという結果になりました。また、最もカビが気になる季節は梅雨の時期であると答えた方が約7割となりました。カビ掃除の正しい知識を得ることで梅雨の掃除の悩みも解決できるかもしれません。

Q1. あなたは、カビに悩まされていますか？
(単一回答 N=1,000)



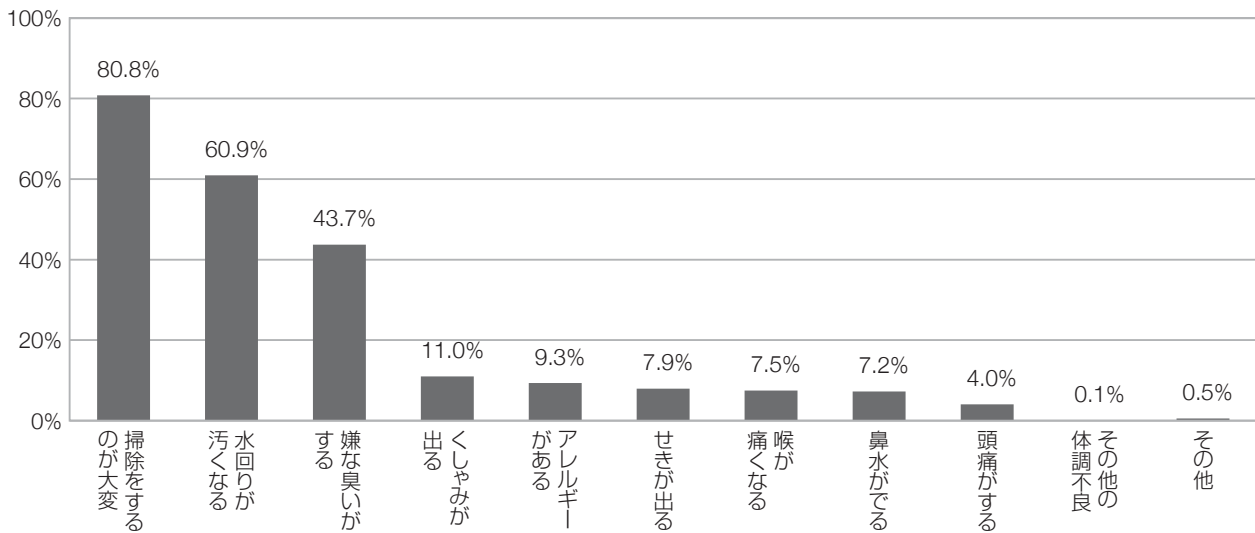
Q2. あなたが、最もカビが気になる季節はいつですか？
(単一回答 N=1,000)



前問にて、カビに悩んでいると答えた方に、どのような悩みがあるのか聞いたところ、1位は「掃除をするのが大変」2位「水回りが汚くなる」という結果になりました。カビはきちんと掃除をしてもすぐに

復活してしまい、目が行き届かないところにも生えてしまうため、掃除をすることにストレスや悩みを抱えている方が多いようです。

Q3. カビについてどのような悩みがありますか？ (複数回答 N=775)

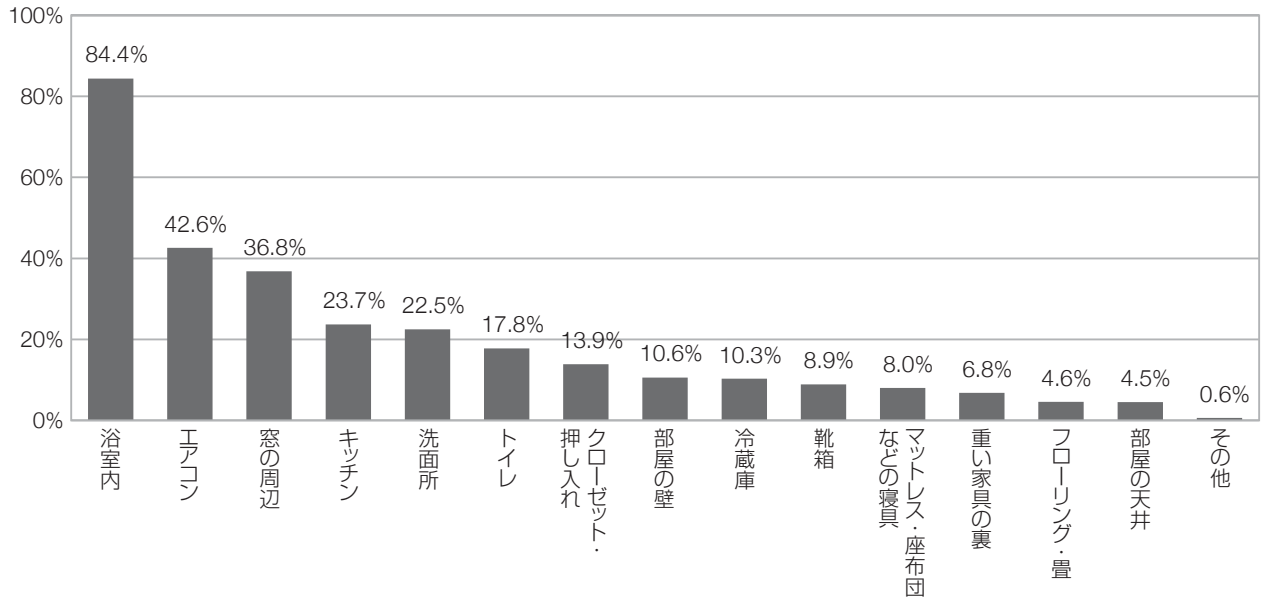


【矢口先生コメント】 カビは温度20～30℃、湿度60%以上で発生しやすくなり、75～90%で最も増殖しやすくなります。梅雨時期はちょうどこの条件と一致します。この他、年にもよりますが、秋の長雨の時期がこれに相当します。

▶カビに悩む場所 1位は「浴室内」
浴室のカビ掃除の頻度は、週に1回程度の人が最も多い結果に

カビに悩んでいると答えた方に、日頃カビに悩んでいる場所について調査しました。その結果、カビに1番悩む場所は「浴室内」ということが分かりました。また、次いで「エアコン」「窓の周辺」という結果になりました。

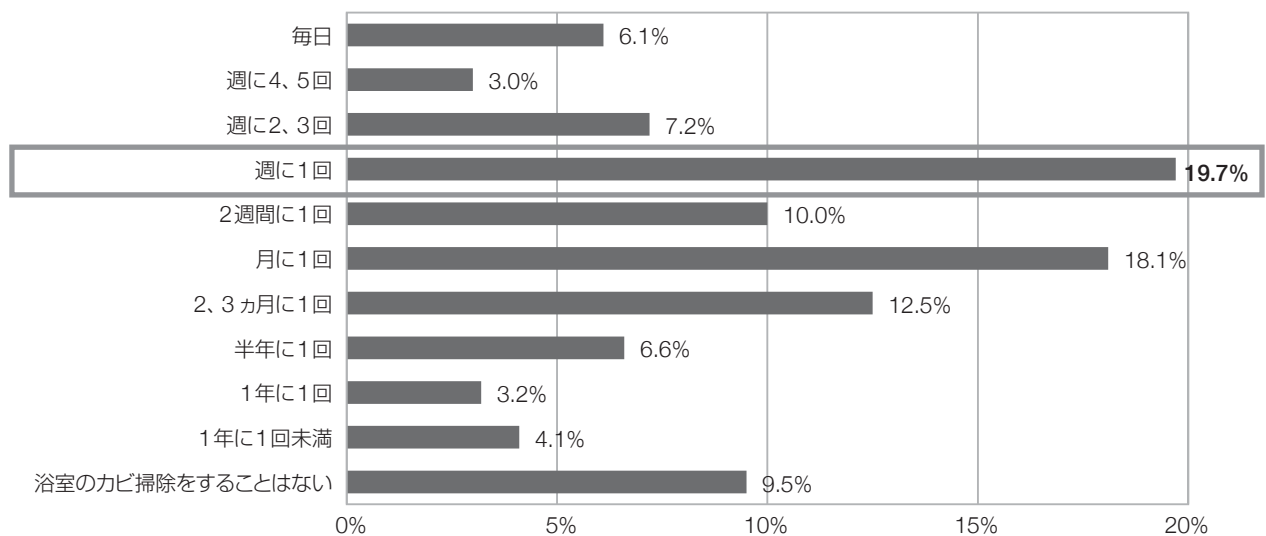
Q4. あなたがカビに悩むのはどんな場所ですか？（複数回答 N=775）



また、浴室のカビ掃除の頻度を聞いたところ、「週に1回」以上掃除している人は約3割いることがわかりました。また、その次に「月に1回」、「2、3か月

に1回」が多い結果となり、頻度は家庭によってバラつきがあるという結果になりました。

Q5. あなたは、浴室のカビ掃除をどのくらいの頻度でおこなっていますか？（単一回答 N=1,000）



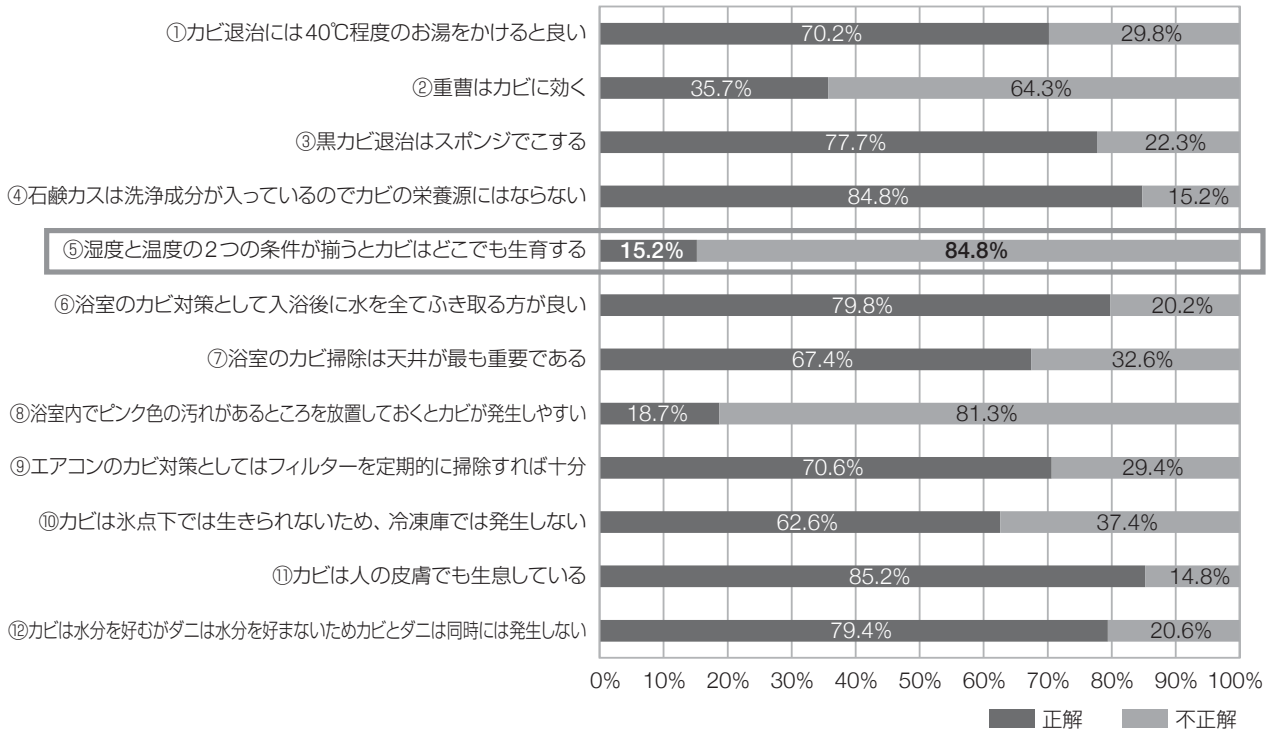
【矢口先生コメント】 週1回程度のカビ掃除が妥当だと思いますが、浴室の掃除回数を一概に推奨することはできません。その理由は、浴室の管理の仕方に左右されるからです。きちんとカビを除去し、入浴後、石鹸カスなどを洗い流し、しっかり乾燥するまで換気すれば、カビはそれほど生えることはありません(排水溝は除く)。少しでもカビが目についたら、カビ掃除するのが賢明です。

▶カビ専門家矢口先生監修「カビ対策知識テスト」
カビを正しく理解している“カビ対策優等生”は約3割という結果に

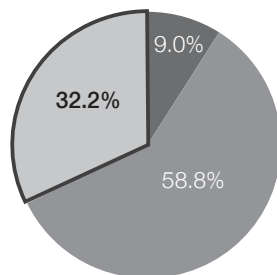
カビに関して正しく理解できているかどうかを確認する簡易テストを、カビの専門家・矢口先生に作成いただきました。

全12問の「カビ対策知識テスト」の平均正解数は7問となり、9問以上正解の“カビ対策優等生”は約3割にとどまりました。設問の中で最も正答率が低かったのは「⑤湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する。(正答は×)」となりました。詳しい解説は次ページをご確認ください。

Q6. 以下のカビに関する内容について、正しいと思うものは○、間違っていると思うものは×をお選びください。
(単一回答 N=1,000)



【理解度判定】



9問以上正解の“カビ対策優等生”
約3割

- 0~4問 【間違ったカビ対策をしている可能性大】
- 5~8問 【合格点！カビ掃除をしっかり行っている証拠！】
- 9問以上 【カビ対策優等生！文句なしの結果です！】

【矢口先生コメント】 カビが生育するには、温度、湿度の他、栄養が必要です。カビは、ホコリ、汚れなどあらゆるもの(有機物)を栄養源にします。また、浴室など水回りのピンク色の汚れは、「ロドトルラ」というカビです。放置しておくともどんどん増殖してしまいます。気づいたらすぐ、カビ取り剤を使用して除去しましょう。掃除の仕方は、基本的に黒カビと同じで、カビ取り剤を使用して取り除きます。

ご家庭で習慣的にカビ掃除をしている方でも、間違った知識に基づいて掃除をしているせいではなかなかカビの悩みを解決できていない可能性もあります。この機会に、ご自身のカビ対策理解度をチェックし、カビ掃除の仕方を見直してはいかがでしょうか。梅雨の時期のカビの悩みも解決するかもしれません。

カビ対策知識テスト カビ専門家 矢口貴志先生監修

	正解	不正解
1. カビ退治には40℃程度のお湯をかけると良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 重曹はカビに効く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 黒カビ退治はスポンジでこする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 石鹸カスは洗浄成分が入っているのでカビの栄養源にはならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 浴室のカビ対策として入浴後に水を全てふき取る方が良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 浴室のカビ掃除は天井が最も重要である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 浴室内でピンク色の汚れがあるところを放置しておくともカビが発生しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. エアコンのカビ対策としてはフィルターを定期的に掃除すれば十分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. カビは氷点下では生きられないため、冷凍庫では発生しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. カビは人の皮膚でも生息している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. カビは水分を好むがダニは水分を好まないためカビとダニは同時には発生しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9問以上正解	カビ対策優等生!
5問～8問正解	合格点ですが、より正しいカビの知識を知ることによってカビ掃除の悩みを解決しよう!
0問～4問正解	間違った知識のもとカビ掃除をしている可能性大! ちょっとした工夫をすることで掃除もだいぶん楽になるかも!

「カビ対策知識テスト」に関して、カビ専門家・矢口先生に解説いただきました。

カビ対策知識テスト<解説>

	正解	不正解
1. カビ退治には40℃程度のお湯をかけると良い [解説] カビは50℃以上でダメージを受けて繁殖力が低下するため40℃程度のお湯だとカビ退治をすることは難しいです。カビを退治するためには50℃以上のお湯をかけた方が効果的です。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2. 重曹はカビに効く [解説] 重曹には「洗浄効果」はありますが、「殺菌、除菌」の効果はないため、カビを根元から取り除くことはできません。カビ掃除をする際には殺菌の効果があるクエン酸や、酢などがオススメです。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3. 黒カビ退治はスポンジでこする [解説] 黒カビは、スポンジでこすただけでは、目地などの奥まで入り込んでカビを除去できません。黒カビ退治にはカビ取り剤の上からペーパーでパックし数十分置いた後に洗い流すと良く取れます。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4. 石鹸カスは洗浄成分が入っているのでカビの栄養源にはならない [解説] 石鹸カスもカビの栄養源となるため、カビを増やさないためにはきちんと石鹸カスも取り除くことが重要です。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5. 湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する [解説] 「湿度(60%以上)」「気温(20～30℃が最適)」「栄養分(食べカス・人のアカなど)」の3つの条件が揃うとカビが発生しやすくなります。言い換えると、それらが揃わなければカビは生えません。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

カビ対策知識テスト<解説>

	正解	不正解
6. 浴室のカビ対策として入浴後に水を全てふき取る方が良い [解説] 水を取り除いてあげることでカビが生えにくくなります。毎日水をふき取ることは難しいと思いますので、水切りの掃除用具などを活用する、また換気扇をなるべく長時間かけることをオススメします。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 浴室のカビ掃除は天井が最も重要である [解説] 天井を掃除しない限り天井から降ってきたカビの胞子が原因で、いくら床や浴槽をキレイにしてもカビがすぐに発生してしまう悪循環に陥ってしまうため、掃除をする際には必ず天井もかかさず掃除することが重要です。きちんと天井も掃除してカビがでにくい環境を整えましょう。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 浴室内でピンク色の汚れがあるところを放置しておくとかビが発生しやすい [解説] 浴室に発生する「ピンク汚れ」の正体はカビの予備軍でなく「ロドトルラ」という赤色酵母で、カビの一種です。ロドトルラは、普通に空気中に浮遊している菌で水分のある場所を好むため、浴室はもちろんキッチンやトイレなどでも繁殖します。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9. エアコンのカビ対策としてはフィルターを定期的に掃除すれば十分 [解説] 冷房で使用した場合、フィルター掃除だけでなく送風機能を使ってエアコン内を乾燥させる必要があります。エアコン内の風通しをよくしてあげることでカビが増えるのを防ぐことができます。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10. カビは氷点下では生きられないため、冷凍庫では発生しない [解説] カビは凍っているところだと発生しません。しかし製氷機の給水タンクはきちんと定期的に掃除をしていないと空気中にあるゴミなどがたまりその中にカビが生息してしまいます。その水が氷となり知らずにカビを摂取し続けてしまうと健康被害にもつながりますので、定期的に給水タンクの掃除は行った方がいいでしょう。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. カビは人の皮膚でも生息している [解説] 人の顔の皮膚や頭皮には、毛根や皮脂腺に棲みつき、余分な皮脂を食べることで皮膚を酸性に保ち、細菌から皮膚を守ってくれる「マラセチア」という常在菌が生息しています。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. カビは水分を好むがダニは水分を好まないためカビとダニは同時には発生しない [解説] ダニはカビを餌とするのでカビ対策を行っていないとダニも増えてしまう原因になります。また、カビはダニの糞、死骸を餌とするため、カビが多いところにはダニも多く、ダニが多いところにはカビも多いということになります。掃除をする際にはカビもダニも両方退治することが大事です。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

カビに対するストレスや悩みを少しでも解消し気持ち良く梅雨を過ごせるよう、カビ専門家・矢口先生

に「梅雨時期に使えるカビ対策の3つのポイント」を教えてくださいました。

カビ専門家・矢口先生に聞く梅雨時期のカビ対策3つのポイント

1. 換気、除湿を心掛ける

梅雨時は湿度60%以上となりカビが非常に発生しやすくなります。そのため、湿気のこもりやすい場所は、扇風機、換気扇などを使用して空気の流れを起こすことにより換気を行い、エアコン、除湿器などを使用して、湿度を下げるようにしましょう。また、カビは定着する場所があるとそこで増殖します。そのた

め、風通しのいい場所は、生えにくいですが、浴室は湿気がこもりやすいので、特に注意が必要です。24時間換気機能の付いている換気扇は、入浴後は強力に換気し、その後は常につけっぱなしにしておくのがお勧めです。衣類の乾燥機能を使用すると、さらに効果的です。洗濯物を部屋干しする場合も、換気と除湿を十分、行いましょう。

2. こまめな掃除を行い、カビの栄養源を取り除く

生活環境中のカビを多く吸うと、アレルギーなどの健康被害を起こす可能性があります。こまめな掃除、特に部屋の隅、家具の裏、電気の傘などカビの栄養源となるホコリを取り除くとともに、エアコンのフィルターにホコリが溜まらないようにすることが大切です。

浴室は、カビの栄養源となる皮膚片、石鹸カスなどが発生しますので、入浴後は浴槽、壁、床などよく洗い流すようにしましょう。キッチンのシンクも同様です。意外に気づきにくいのはシャワータイプの水道の蛇口です。食器を洗う時の汚れが付き、カビが生えて

いることがあります。食器を洗う時に、蛇口の裏も同時に洗いましょう。

3. 梅雨入り前にエアコン、浴室などの水回りの掃除をきちんと行う

梅雨時期には、カビは繁殖しやすくなりますので、カビ取りを行うことが多くなってしまいます。そのため、梅雨前、比較的乾燥している5月にキッチンや浴室などの水回りをきちんと掃除しカビが生えにくい状態にしておくことが重要です。また、エアコンのフィルター、冷気の吹き出し口を掃除し、エアコン内部に溜まってしまったホコリを送風で噴き出すことでエアコンをクリーンな状態にし、梅雨時の除湿に活用しましょう。

カビ専門家 矢口貴志 先生

早稲田大学理工学研究科博士前期課程修了。明治製菓(株)を経て現在、千葉大学真菌医学研究センター准教授。生活環境のカビ、とくにヒトに病原性のあるカビを専門に研究している。身の回りのカビの危険性について、「世界一受けたい授業」、「林修の今でしょ講座」など多くのテレビ番組、雑誌などで解説している。



【調査概要】

調査時期：2020年4月11日～4月12日
調査対象：20～60代男女計1,000人

調査方法：インターネット調査
調査エリア：全国47都道府県

[リンナイ調べ]

【本リリース詳細】<https://www.rinnai.co.jp/releases/2020/0512/images/releases20200512.pdf>

【本件に関するお問い合わせ先】リンナイ株式会社 広報部：052-361-8211（代表）

